

日本地質学会2015年度第2回理事会議事録

日 時 2015年9月10日（木）14:00-17:00

会 場 長野市生涯学習センター 学習室（長野市鶴賀間御所町1200）

出席役員 理事(37名):天野一男 安間 了 市川八州夫 井龍康文 ウォリス サイモン 上砂正一 小山内康人 海野 進 亀尾浩司 川端清司 川辺文久 小嶋 智 小宮 剛 斎藤 眞 坂口有人 佐々木和彦 沢田 健 菖蒲幸男 杉田律子 竹内 誠 竹下 徹 千代延俊 内藤一樹 中澤 努 久田健一郎 平田大二 廣木義久 星 博幸 保柳康一 松田達生 松田博貴 向山 栄 矢島道子 山路 敦 山田泰広 山本高司 渡部芳夫

欠席役員 理事(13名):有馬 眞 安藤寿男 緒方信一 笠間友博 清川昌一 後藤和久 榊原正幸 佐野 弘好 高橋正樹 奈良正和 原山 智 三次徳二 宮田隆夫 監事(2名):青野道夫 山本正司

その他出席者 事務局:橋辺菊恵

- * 成立要件:理事総数50名の過半数26名 本日の出席者37名で本理事会は成立.
- * 議決:出席者の過半数19名
- * 書記2名の選出:松田達生・亀尾浩司
- * 会議に先立って井龍会長の挨拶があった.

報告事項

1. 執行理事会報告

1) 2015年第1回～第3回執行理事会要点（斎藤常務理事）

本年度第1回～第3回執行理事会の要点について、斎藤常務理事から資料に基づき説明があった。質疑応答では、年会にてキャンセルされた講演をアナウンスする件につき質問があり、事情によりキャンセルされたものについては、次年度に同じ内容の発表が出て問題にならないようにするためであるという説明がなされた。

2) 行事委員会報告（竹内理事）

理事会資料に基づいて竹内行事委員長から、長野大会の状況報告、2016年東京・桜上水大会および2017愛媛大会の予定に関する報告があった。さらに2018年北海道・東北支部担当による大会は、北海道大学で開催予定であることが紹介された。

2. 理事および委員会等報告

1) 中期ビジョン委員会（坂口理事）

坂口理事から理事会資料に基づき、平成26年度中期ビジョン検討ワーキンググループによる提言について、前回理事会での修正意見を入れ修正したこと等の説明があった。今後、2週間程度で本理事会メンバーにより検討し、意見があれば理事会MLに流して議論を行うことにした。

確定後、このビジョンに従って地質学会の活動が行われる見込み。

2) 県の石選定委員会（川端理事）

川端理事により、回収資料に基づいて「県の石」選定の現状については遅れ気味であることの説明があった。今後の進め方については本理事会の審議事項として議論する。

3) 125周年記念事業実行委員会（矢島理事）

矢島理事から理事会資料に基づいて記念事業の準備状況について説明があった。5月に委員会を立ち上げ、具体的活動を開始した。5/23と8/5に委員会を開催し、記念事業の内容（記念出版・記念式典等）について検討した。質疑応答では、125周年レビューは地質学雑誌の特集号として適宜掲載すること、現段階では記念事業は資料に掲載したもの以外は想定していない旨が説明された。

4) 「海洋底調査の基本」の出版について（安間理事）

安間理事から、本出版物の計画の経緯と現状について説明があった。現在全体の7割程度の原稿ができあがっている。今年度中に刊行するよう原案を完成させ、専門部会のチェックを受ける予定である。内容については、アップデートを行っており、新しい話題に対応してある。なお、保柳理事から12月の理事会で最終的に承認を受けたい旨の説明があった。

3. その他

- 1) 上砂理事から機関リポジトリの件で、会長から法務委員会への諮問があった編集関係の規則等の確認については、本理事会後に日程調整をし、法務委員会において検討予定である旨の説明があつ

- た。
- 2) 久田理事から来年開催の地学オリンピック三重大会の準備状況について説明があった。寄附金は目標額(2400万)に達したこと、文科省からの助成予定や実行案の説明があった。
 - 3) 上砂理事から、環境地質部会として「国際シンポジウム5th International Symposium on Man-Made Strata and Geo Pollution」開催についての報告があった。

*審議に入る前に参加者数の確認をし、成立要件に照らして本理事会の成立が確定した。

審議事項

1. 各賞選考規則の改正

齋藤常務理事から、理事会資料に基づいて各賞選考規則の改正案についての説明があり、議論を行った。改正の趣旨を反映する改正内容になっているかどうか、筆頭著者や責任著者の取り扱い、多人数の場合の賞金の出し方などについて、いくつかの重要な懸案事項が指摘された。そのため、少なくとも来年度に関しては現行案のまま実施する。引き続き執行理事会にて検討し、改めて提案されることになった。

2. 編集出版細則の改正

山路編集委員長から理事会資料に則って改正案の趣旨が説明された。地質学雑誌の特集号の企画は、特集号の代表世話人が「特集号申込書」を編集委員会に提出することで随時受け付け、その申込書にもとづいて、同委員会は申し込みの受諾の可否を決定することができるようにする。また、現在の細則2の8は削除することを含めて編集委員会で検討する。

以上提案の通り了承されたが、細則2-8については改めて編集委員会で議論し、別途改正案が提案されることになった。

3. 選挙規則の改正：理事の欠員補充について

齋藤常務理事から理事会資料に基づいて説明があった。「改正提案の趣旨」理事に欠員ができた時、その補充が容易となるよう選挙規則第5条8項の規則を改正する。また、次点候補者の決定に不在が起きないように、特に支部関係の候補者は複数の候補者が立つよう分かり易く周知する。

議論の結果、提案を一部修正し「選挙管理委員会は当選者とともに順位を付けた補欠者を決定し総会に報告する。」と改正することで合意した。

4. たんけんマップの企画提案について

保柳理事から理事会資料に基づいて説明があった。地質リーフレットたんけんマップ「伊豆大島と三原山 ～いま溶岩の上に立つ～」は企画提案通り承認された。

5. 県の石について

齋藤常務理事から、今後の進め方として、執行理事会と川端委員長とで進め方を協議したうえで各候補案を検討し、決定原案を理事会に諮りたい旨の提案があり、了承された。

6. その他

1) ポスター賞のエントリー制について

会議時間満了のため、次回理事会での議論とすることとした。

以上

2015年10月23日
一般社団法人日本地質学会
理事会議長 小嶋 智
副議長 向山 栄
代表理事：会長 井龍康文
(以下、役員氏名略)